

鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：令和5年 1月21日（土）

議 題：広島県世羅町の家きんにおける鳥インフルエンザ
の疑似患畜の発生について

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況について

農林水産省

令和5年1月21日

1	高病原性鳥インフルエンザとは	...	1
2	防疫措置の進捗状況	...	2
3	総理指示を受けた対応について	...	8
4	専門家の緊急提言を踏まえた防疫対策の再徹底について	...	9
5	鳥インフルエンザ対策の強化について	...	10
6	過去の発生事例	...	11
7	韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況	...	12
8	世界における高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況	...	13
9	輸出への影響	...	14

1 高病原性鳥インフルエンザとは

(1) 原因（病原体）

○ I Eが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス

元気消失



(2) 対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

(3) 症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色（紫色）、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症：海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

(4) 発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和2、3年度に発生。

※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況①

令和5年1月21日 8時30分現在

事例数：25道県、63事例（防疫措置対象：71農場 4施設 約1165万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		～ 21日目		
						防疫措置（殺処分、消毒等） 開始	完了	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
1	岡山 1	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 10月28日	約17万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月27日	10月28日 7時00分	11月3日 12時55分	11月18日 終了	11月18日 20時00分	11月25日 0時00分
2	北海道 1	養鶏場 (北海道厚真町)	令和4年 10月28日	約17万羽 (肉用鶏・平飼い)	10月28日	10月28日 10時30分	11月3日 8時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	11月25日 0時00分
3	香川 1	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月1日	約4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	10月31日	11月1日 5時00分	11月4日 17時00分	11月19日 終了	11月20日 0時00分	12月18日 0時00分
4	茨城 1	養鶏場 (茨城県かすみがうら市)	令和4年 11月4日	約104万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月3日	11月4日 7時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月8日 0時00分	12月14日 0時00分
5	岡山 2	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月4日	約51万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月4日 (持ち回り)	11月4日 8時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
6	北海道 2	養鶏場 (北海道伊達市)	令和4年 11月7日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月7日 (持ち回り)	11月7日 14時00分	11月13日 8時00分	11月29日 終了	11月30日 0時00分	12月5日 0時00分
7	岡山 3	養鶏場 (岡山県倉敷市)	令和4年 11月11日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 7時00分	11月18日 13時30分	12月3日 終了	12月3日 17時00分	12月10日 0時00分
8	和歌山 1	家きん飼養施設 (和歌山県白浜町)	令和4年 11月11日	約60羽 (あひる等)	11月11日 (持ち回り)	11月11日 9時20分	11月12日 5時00分	—	11月23日 0時00分	12月4日 0時00分
9	兵庫 1	養鶏場 (兵庫県たつの市)	令和4年 11月13日	約4.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月12日	11月13日 9時00分	11月15日 20時00分	—	11月26日 0時00分	12月7日 0時00分
10	鹿児島 1	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月18日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月17日	11月18日 4時00分	11月21日 8時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
11	新潟 1	養鶏場 (新潟県阿賀町)	令和4年 11月18日	約15万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月17日	11月18日 7時00分	11月24日 12時00分	12月10日 終了	12月11日 0時00分	12月16日 0時00分
11' (関連)	新潟 1'	食鳥処理場 (新潟県新発田市)	—	約0.6万羽 (肉用鶏)		11月18日 7時00分	11月18日 22時00分	—	—	—
12	宮崎 1	養鶏場 (宮崎県新富町)	令和4年 11月20日	約16万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月19日 (持ち回り)	11月20日 4時00分	11月22日 18時00分	12月7日 終了	12月7日 14時00分	12月14日 0時00分
13	青森 1	養鶏場 (青森県横浜町)	令和4年 11月20日	約12.2万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月20日 (持ち回り)	11月20日 15時00分	11月24日 11時30分	12月9日 終了	12月9日 18時00分	12月16日 0時00分
13' (関連)	青森 1'	食鳥処理場 (青森県横浜町)	—	約0.8万羽 (肉用鶏)		11月20日 15時00分	11月21日 16時30分	—	—	—

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況②

令和5年1月21日 8時30分現在

事例数：25道県、63事例（防疫措置対象：71農場 4施設 約1165万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3			措置完了日(0日目)		10日目 清浄性 確認検査	～ 搬出制限区域 解除	21日目 移動制限区域 解除
						防疫措置（殺処分、消毒等） 開始	完了			
14	香川 2	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月22日	約2.4万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月22日 (持ち回り)	11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	12月18日 0時00分
14' (関連)	香川 2'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.9万羽 (肉用鶏)		11月22日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
15	香川 3	養鶏場 (香川県観音寺市)	令和4年 11月23日	約1.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	12月11日 終了	12月12日 0時00分	12月18日 0時00分
15' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
15' (関連)	香川 3'	養鶏場 (香川県観音寺市)	—	約1.2万羽 (採卵鶏)		11月23日 5時00分	11月26日 18時15分	—	—	—
16	宮城 1	養鶏場 (宮城県気仙沼市)	令和4年 11月23日	約2.1万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月23日 (持ち回り)	11月23日 11時00分	11月24日 20時45分	—	12月5日 0時00分	12月16日 0時00分
17	鹿児島 2	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月24日	約7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月24日 (持ち回り)	11月24日 14時00分	11月27日 9時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
17' (関連)	鹿児島 2'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	—	約0.8万羽 (採卵鶏)		11月24日 14時00分	11月27日 9時00分	—	—	—
18	千葉 1	家きん飼養施設 (千葉県香取市)	令和4年 11月26日	約20羽 (あひる(あいがも))	11月26日 (持ち回り)	11月26日 6時00分	11月26日 8時24分	—	12月7日 0時00分	12月18日 0時00分
19	鹿児島 3	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 11月27日	約47万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月27日 (持ち回り)	11月27日 6時00分	12月8日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
20	福島 1	養鶏場 (福島県伊達市)	令和4年 11月29日	約1.7万羽 (肉用鶏・平飼い)	11月28日	11月29日 6時00分	11月30日 21時50分	12月15日 終了	12月15日 16時00分	12月22日 0時00分
21	和歌山 2	養鶏場 (和歌山県和歌山市)	令和4年 11月30日	約4.6万羽 (採卵鶏・平飼い)	11月30日 (持ち回り)	11月30日 7時00分	12月4日 18時30分	—	12月15日 0時00分	12月26日 0時00分
22	鳥取 1	養鶏場 (鳥取県鳥取市)	令和4年 12月1日	約11万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月30日	12月1日 5時00分	12月5日 17時00分	—	12月16日 0時00分	12月27日 0時00分
23	鹿児島 4	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月2日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月2日 (持ち回り)	12月2日 6時00分	12月5日 4時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
24	鹿児島 5	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月4日	約3.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日 (持ち回り)	12月4日 9時00分	12月6日 19時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
25	愛知 1	養鶏場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月5日	約31万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月4日	12月5日 7時30分	12月15日 8時00分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況③

令和5年1月21日 8時30分現在

事例数：25道県、63事例（防疫措置対象：71農場 4施設 約1165万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		～ 21日目		
						防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
				開始	完了					
26	佐賀 1	養鶏場 (佐賀県武雄市)	令和4年 12月6日	約3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月5日	12月6日 5時00分	12月7日 22時26分	12月22日 終了	12月22日 17時00分	12月29日 0時00分
27	鹿児島 6	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月7日	約6万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 8時00分	12月14日 16時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分
28	福島 2	養鶏場 (福島県飯舘村)	令和4年 12月7日	約10万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月7日 16時00分	12月11日 20時00分	—	12月22日 0時00分	1月2日 0時00分
29	山形 1	養鶏場 (山形県鶴岡市)	令和4年 12月8日	約2.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月8日 8時00分	12月12日 19時40分	12月27日 終了	12月27日 16時00分	1月3日 0時00分
29' (関連)	山形 1'	養鶏場 (山形県庄内町)	—	約4万羽 (採卵鶏)	—	12月8日 8時00分	12月12日 19時40分	—	—	—
30	鹿児島 7	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月8日	約6.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日	12月7日 9時00分	12月14日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
31	愛知 2	家さん農場 (愛知県豊橋市)	令和4年 12月8日	約1000羽 (あひる(あいがも))	12月8日 (持ち回り)	12月7日 7時30分	12月9日 11時10分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分
31' (関連)	愛知 2'	家さん農場 (愛知県豊橋市)	—	約1000羽 (あひる(あいがも))	—	12月7日 7時30分	12月9日 11時10分	—	—	—
32	鹿児島 8	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月9日	約22万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月9日 (持ち回り)	12月9日 12時30分	12月14日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
33	香川 4	養鶏場 (香川県三豊市)	令和4年 12月11日	約8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 7時00分	12月15日 16時10分	12月30日 終了	12月31日 0時00分	1月6日 0時00分
34	鹿児島 9	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和4年 12月11日	約2.2万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分	12月31日 終了	12月31日 12時00分	1月6日 0時00分
34' (関連)	鹿児島 9'	養鶏場 (鹿児島県出水市)	—	約7.4万羽 (採卵鶏)	12月11日 (持ち回り)	12月11日 12時00分	12月15日 16時00分	—	—	—
35	青森 2	養鶏場 (青森県三沢市)	令和4年 12月15日	約137万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日 (持ち回り)	12月15日 13時00分	12月30日 12時30分	1月14日 終了	1月14日 16時00分	1月21日 0時00分
36	広島 1	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月16日	約12万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 8時30分	12月25日 14時00分			
37	沖縄 1	養鶏場 (沖縄県金武町)	令和4年 12月16日	約4.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月15日	12月16日 9時00分	12月21日 12時00分	—	1月1日 0時00分	1月12日 0時00分
38	埼玉 1	養鶏場 (埼玉県深谷市)	令和4年 12月17日	約19.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月17日 (持ち回り)	12月17日 8時00分	12月23日 20時00分	—	1月3日 0時00分	1月14日 0時00分
39	鹿児島 10	養鶏場 (鹿児島県南九州市)	令和4年 12月18日	約3.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月18日 (持ち回り)	12月17日 9時00分	12月20日 17時00分	1月5日 終了	1月5日 12時00分	1月11日 0時00分

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況④

令和5年1月21日 8時30分現在

事例数：25道県、63事例（防疫措置対象：71農場 4施設 約1165万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		～		21日目
						防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
				開始	完了					
40	福岡 1	養鶏場 (福岡県糸島市)	令和4年 12月19日	約5.4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 8時00分	12月27日 18時00分	1月11日 終了	1月12日 0時00分	1月18日 0時00分
41	鹿児島 11	養鶏場 (鹿児島県阿久根市)	令和4年 12月19日	約7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 15時00分	12月24日 17時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分
42	広島 2	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月19日	約18.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 16時00分	1月7日 20時10分			
43	岡山 4	家さん農場 (岡山県美咲町)	令和4年 12月20日	約2.3万羽 (あひる(あいがも))	12月20日 (持ち回り)	12月20日 7時00分	12月24日 17時50分	1月8日 終了	1月8日 14時00分	1月15日 0時00分
44	宮崎 2	養鶏場 (宮崎県日向市)	令和4年 12月21日	約5万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月21日 (持ち回り)	12月21日 13時00分	12月22日 17時00分	1月6日 終了	1月6日 16時00分	1月13日 0時00分
44' (関連)	宮崎 2'	養鶏場 (宮崎県日向市)	—	約10万羽 (肉用鶏)	—	12月21日 13時00分	12月22日 17時00分	—	—	—
45	鹿児島 12	養鶏場 (鹿児島県阿久根市)	令和4年 12月21日	約3.7万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月21日 (持ち回り)	12月21日 15時00分	12月23日 12時00分	1月9日 終了	1月9日 12時00分	1月15日 0時00分
46	長崎 1	養鶏場 (長崎県佐世保市)	令和4年 12月22日	約2.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月21日	12月22日 7時00分	12月24日 20時30分	1月8日 終了	1月9日 17時00分	1月15日 0時00分
47	茨城 2	養鶏場 (茨城県笠間市)	令和4年 12月22日	約11万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月21日	12月22日 8時00分	12月25日 14時30分	1月9日 終了	1月10日 0時00分	1月16日 0時00分
48	福岡 2	養鶏場 (福岡県糸島市)	令和4年 12月26日	約3.6万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月26日 (持ち回り)	12月26日 8時00分	12月27日 18時00分	1月11日 終了	1月12日 0時00分	1月18日 0時00分
49	広島 3	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月27日	約12.7万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月27日 (持ち回り)	12月27日 16時30分	1月16日 20時09分			
50	埼玉 2	養鶏場 (埼玉県狭山市)	令和4年 12月30日	約13万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月30日 (持ち回り)	12月30日 8時00分	1月3日 23時30分	1月19日 終了	1月20日 0時00分	
51	広島 4	養鶏場 (広島県世羅町)	令和4年 12月30日	約29万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月30日 (持ち回り)	12月30日 16時00分	1月17日 13時25分			
52	群馬 1	養鶏場 (群馬県前橋市)	令和5年 1月1日	約1.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月31日 (持ち回り)	1月1日 8時00分	1月3日 17時00分	1月18日 終了	1月19日 0時00分	
53	千葉 2	養鶏場 (千葉県旭市)	令和5年 1月3日	約1.0万羽 (採卵鶏・平飼い)	1月3日 (持ち回り)	1月3日 6時00分	1月4日 22時30分	1月19日 終了	1月20日 0時00分	
54	福岡 3	家さん農場 (福岡県古賀市)	令和5年 1月3日	約400羽 (だちょう(エミュー))	1月3日 (持ち回り)	1月3日 9時00分	1月18日 19時00分			

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑤

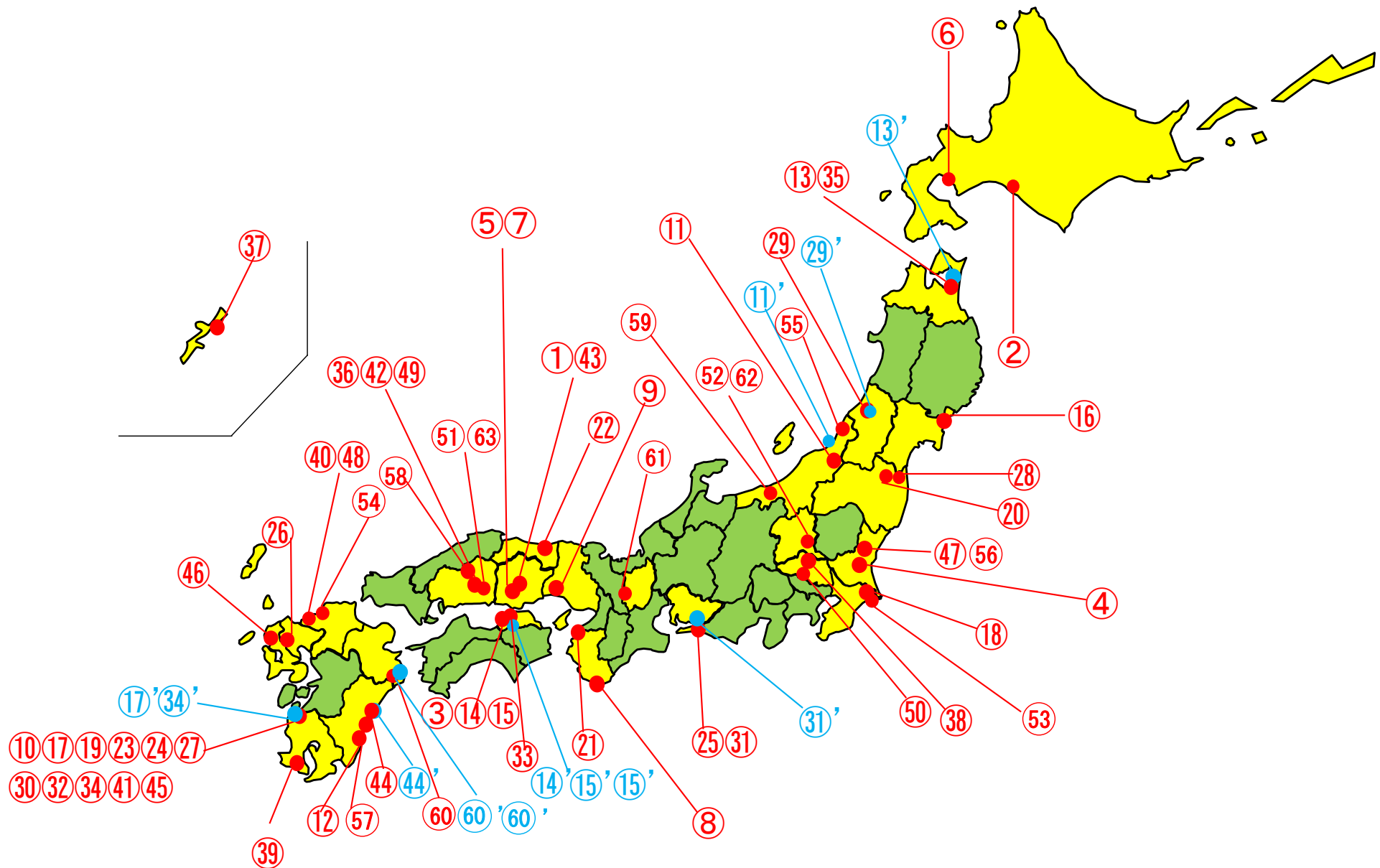
令和5年1月21日 8時30分現在

事例数：25道県、63事例（防疫措置対象：71農場 4施設 約1165万羽）					農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）				
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3	措置完了日(0日目)		10日目		～		21日目
						防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
				開始	完了					
55	新潟 2	養鶏場 (新潟県村上市)	令和5年 1月6日	約130万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月6日 (持ち回り)	1月6日 8時00分	1月19日 12時00分			
56	茨城 3	養鶏場 (茨城県城里町)	令和5年 1月9日	約93万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月9日 (持ち回り)	1月9日 10時00分	1月17日 16時00分			
57	宮崎 3	養鶏場 (宮崎県川南町)	令和5年 1月10日	約10万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月10日 (持ち回り)	1月10日 7時00分	1月12日 15時00分			
58	広島 5	養鶏場 (広島県三次市)	令和5年 1月10日	約83.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月10日 (持ち回り)	1月10日 21時00分				
59	新潟 3	養鶏場 (新潟県上越市)	令和5年 1月13日	約10.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月13日 (持ち回り)	1月13日 8時00分	1月17日 20時30分			
60	大分 1	養鶏場 (大分県佐伯市)	令和5年 1月17日	約1.3万羽 (肉用鶏・平飼い)	1月17日 (持ち回り)	1月17日 8時00分	1月18日 4時00分			
60' (関連)	大分 1'	養鶏場 (大分県佐伯市)	—	約1.9万羽 (肉用鶏)	—	1月17日 8時00分	1月18日 4時00分			
60' (関連)	大分 1'	養鶏場 (大分県佐伯市)	—	約2.4万羽 (肉用鶏)	—	1月17日 8時00分	1月18日 4時00分			
61	滋賀 1	養鶏場 (滋賀県大津市)	令和5年 1月19日	約4000羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月19日 (持ち回り)	1月19日 12時00分				
62	群馬 2	養鶏場 (群馬県前橋市)	令和5年 1月19日	約45万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月19日 (持ち回り)	1月19日 12時00分				
63	広島 6	養鶏場 (広島県世羅町)	令和5年 1月21日	約12.8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月21日 (持ち回り)	1月21日 8時30分				

※1 疑似患畜と確認した日 ※2 飼養羽数は疑似患畜確認時の羽数

※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑥



3 総理指示(10月28日)を受けた対応について

＜総理指示＞(10月28日)

- ① 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- ② 現場の情報をしっかり収集すること。
- ③ 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- ④ 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

＜対応＞

- ① 全都道府県に対し、鳥インフルエンザの早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を改めて通知し、家きん農場における監視体制の強化を実施。併せて、経営支援対策を周知。
- ② 農林水産省政務による都道府県知事との意見交換を実施するとともに、疫学、野鳥等の専門家からなる疫学調査チームを派遣。
- ③ 関係省庁^(※)と連携し、都道府県が実施する防疫措置(当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、移動制限区域・搬出制限区域の設定、消毒ポイントの設置等)について、職員の派遣等、必要に応じた支援を実施。(また、環境省において発生農場周辺半径10kmを「野鳥監視重点区域」に指定し、県に野鳥の監視を強化するよう要請。)
- ④ 消費者、流通業者、製造業者等に対し、鳥インフルエンザに関する正しい知識の普及等(鶏肉・鶏卵の安全性の周知、発生県産の鶏肉・鶏卵の適切な取扱いの呼び掛け等)を実施。

(※)関係各省:消費者庁、警察庁、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省及び防衛省

4 専門家の緊急提言(11月28日)を踏まえた防疫対策の再徹底について

令和4年11月28日の家きん疾病小委員会における緊急提言を踏まえ、以下のチラシを活用して、防疫対策再徹底の呼びかけを実施。

農場周辺の高病原性鳥インフルエンザのウイルスが非常に多くなっています！

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが特に重要です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認をお願いします！
- 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認をお願いします！



◆ 飼養家きんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→



5 鳥インフルエンザ対策の強化について

- 昨年12月22日の鳥インフルエンザ関係閣僚会議での総理指示を踏まえ、**家きんでの高病原性鳥インフルエンザ発生道県から、道県の家畜防疫員の指導により、家きん農場において緊急消毒を実施中**。発生した23道県のうち、**13道県が昨年内に緊急消毒を開始**。残りの県についても、**今後の緊急消毒開始に向けて調整中**。
- また、殺処分羽数が過去最多となったことを踏まえ、**農林水産大臣から畜産関係者に対し、最大限の緊急警戒を呼びかけ**。

【シーズン前からの取組】

○防疫演習の実施

各都道府県において、鳥インフルエンザの発生時に防疫対応が迅速に行えるよう、**防疫演習を実施**。
(令和4年度162回実施済み)

○毎月の飼養衛生管理の自己点検

令和2年12月以降、**全国の養鶏場に対して、飼養衛生管理基準の遵守状況の一斉点検を毎月実施**。(10月～5月)

○農林水産大臣からの注意喚起、飼養衛生管理徹底の呼びかけ

越境性動物疾病防疫対策強化推進会議(昨年9月)及び大臣メッセージの発出(昨年12月)
※大臣メッセージの発出(令和4年12月7日)



【昨年12月の関係閣僚会議を踏まえた対応】

○緊急消毒

家きんでの高病原性鳥インフルエンザ発生道県から、鶏舎周辺の敷地など家きん農場における消石灰による緊急消毒を支援。
〔発生25道県のうち、**13道県が、令和4年内に緊急消毒を開始**。
残りのほとんどの県についても、1月中の開始に向けて調整中。〕

※緊急消毒の実施状況



○地域一体となった防疫の取組に対する支援

消毒機器の整備、ため池等での野鳥飛来防止対策などの地域一体となった取組に対して支援。

【過去最大の発生となったことを受けた緊急対応】

○農林水産省対策本部の緊急開催

殺処分羽数が令和2年度シーズンを上回ったことを受け、1月9日に農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部を**緊急に開催**。
農林水産大臣から、畜産関係者に対し、最大限の緊急警戒を呼びかけ。

○鶏卵の安定供給の確保

農林水産省から、**養鶏関係者に対し、鶏卵の円滑な供給に影響を与えぬよう、採卵鶏の飼養期間の延長など**安定的な生産確保と家庭消費向けの優先供給を要請****。

6 過去の発生事例～近年の高病原性鳥インフルエンザの発生とその対応

＜平成15年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～3月…3府県4事例 約27万羽（山口県、大分県、京都府）
 （※我が国で79年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザの発生）

＜平成18年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

1～2月…2県4事例 約16万羽（宮崎県、岡山県）

＜平成22年度の発生＞ H5N1亜型（高病原性）

11～3月…9県24事例 約183万羽（島根県、宮崎県、鹿児島県、愛知県、大分県、三重県、奈良県、和歌山県、千葉県）

＜平成26年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

4月…1県1事例 約10万羽（熊本県）
 12～1月…4県5事例 約35万羽（宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県）

＜平成28年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

11～3月…9道県12事例 約166万羽（青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、千葉県）

＜平成29年度の発生＞ H5N6亜型（高病原性）

平成30年1月…1県1事例 約9.1万羽（香川県）

＜令和2年度の発生＞ H5N8亜型（高病原性）

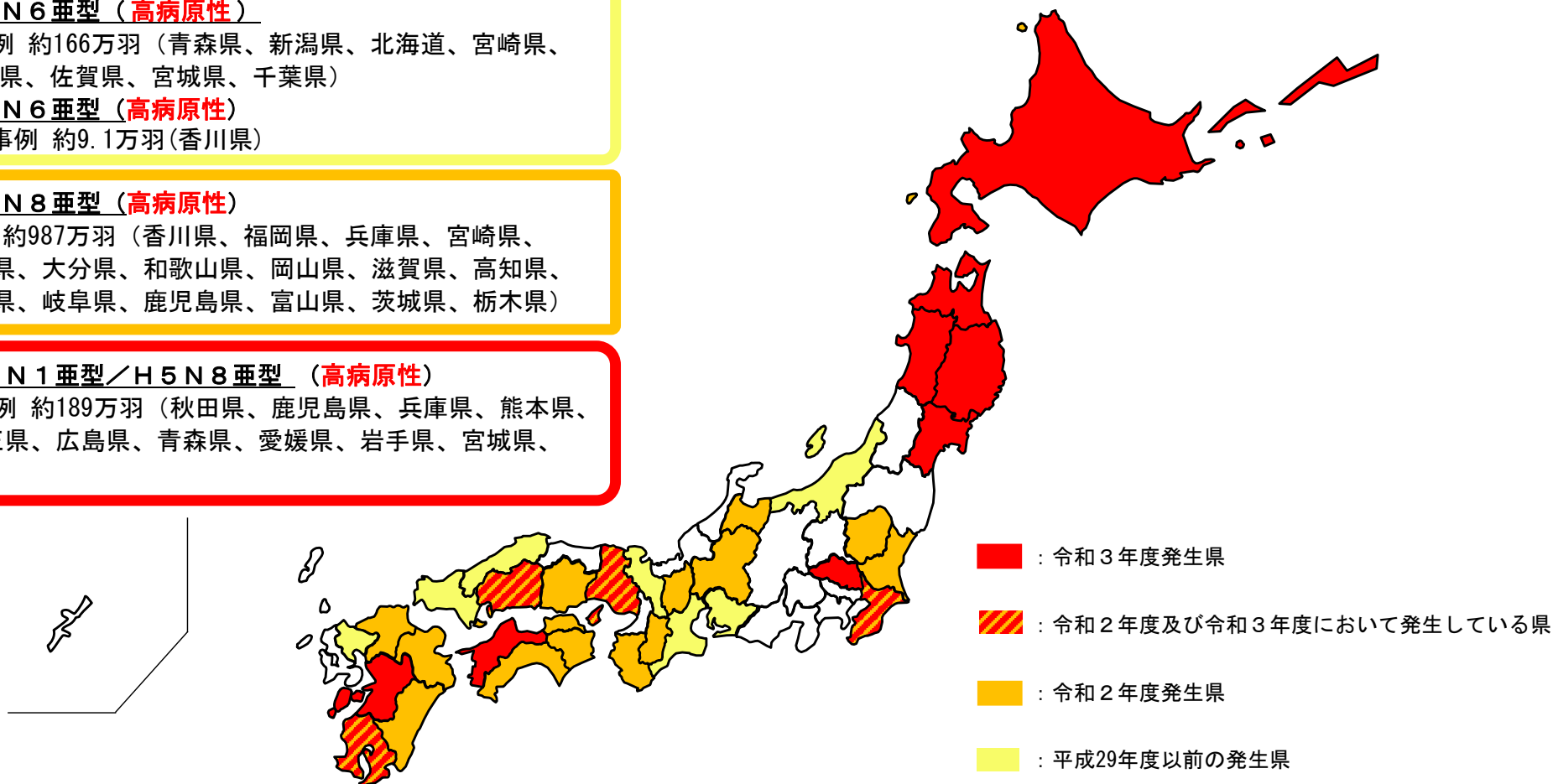
11～3月…18県52事例 約987万羽（香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、茨城県、栃木県）

＜令和3年度の発生＞ H5N1亜型／H5N8亜型（高病原性）

11～5月…12道県25事例 約189万羽（秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、愛媛県、岩手県、宮城県、北海道）

※野鳥における発生（高病原性）

- ・平成20年 全3県
- ・平成22～23年 全16県
 （他3県における動物園等の飼育鳥からウイルスを確認）
- ・平成26～27年 全6県12例（H5N8型）
- ・平成28～29年 全22都道府県 218例（H5N6型）
- ・平成29～30年 全3都県45例（H5N6型）
- ・令和2～3年 全18道県58例（H5N8型）
- ・令和3～4年 全8道府県107例（H5N1型/ H5N8型）



韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況 (2022年10月以降)

2023年1月13日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部

京畿道				
2022.11.15	龍仁市	肉用種鶏	約4.2万羽	H5N1
2022.11.16	華城市	肉用種鶏	約2.4万羽	H5N1
2022.11.17	平沢市	採卵鶏	約0.6万羽	H5N1
2022.11.23	平沢市	採卵鶏	約3.5万羽	H5N1
2022.11.26	利川市	採卵鶏	約17万羽	H5N1
2022.11.29	安城市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.13	安城市	採卵鶏	約32万羽	H5N1
2023.1.2	金浦市	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2023.1.2	漣川郡	採卵鶏	約9.3万羽	H5N1
2023.1.7	高陽市	採卵鶏	約7.6万羽	H5
2023.1.12	平沢市	肉用鶏	約4.6万羽	H5N1

忠清南道				
2022.11.9	天安市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.11.26	洪城市	観賞用鳥類	154羽	H5N1
2022.12.26	礼山郡	採卵鶏	約11.5万羽	H5N1

全羅北道				
2022.11.5	淳昌郡	採卵鶏	約15.5万羽	H5N1
2022.12.2	高敞郡	肉用アヒル	約0.7万羽	H5N1
2022.12.25	南原市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.30	井邑市	肉用アヒル	約1.1万羽	H5N1

全羅南道				
2022.11.15	長興郡	肉用アヒル	約1.1万羽	H5N1
2022.11.22	羅州市	肉用アヒル	約7.9万羽	H5N1
2022.11.26	高興郡	肉用アヒル	約2.6万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	採卵鶏	約5.5万羽	H5N1
2022.11.28	羅州市	肉用アヒル	約4.6万羽	H5N1
2022.12.1	羅州市	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1
2022.12.2	羅州市	肉用アヒル	約2.0万羽	H5N1
2022.12.3	務安郡	種アヒル	約0.8万羽	H5N1
2022.12.3	咸平郡	採卵鶏	約41.7万羽	H5N1
2022.12.4	咸平郡	採卵鶏	約8.0万羽	H5N1
2022.12.5	羅州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.12.8	務安郡	種アヒル	約0.6万羽	H5N1
2022.12.8	谷城郡	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.12.8	靈岩郡	採卵鶏	約9.1万羽	H5N1
2022.12.9	務安郡	種アヒル	約0.9万羽	H5N1
2022.12.10	靈岩郡	肉用鶏	約12.0万羽	H5N1
2022.12.11	務安郡	肉用アヒル	約1.5万羽	H5N1
2022.12.11	靈岩郡	肉用アヒル	約2.9万羽	H5N1
2022.12.11	靈岩郡	採卵鶏	約3.9万羽	H5N1
2022.12.12	咸平郡	採卵鶏	約5.4万羽	H5N1
2022.12.12	海南郡	肉用アヒル	約3.6万羽	H5N1
2022.12.18	咸平郡	種アヒル	約1.6万羽	H5N1
2022.12.21	羅州市	肉用アヒル	約1.4万羽	H5N1
2022.12.22	谷城郡	採卵鶏	約5.3万羽	H5N1
2023.1.5	靈岩郡	肉用アヒル	約2.5万羽	H5N1
2023.1.11	宝城郡	肉用アヒル	約1.6万羽	H5N1



月	事例数	殺処分羽数
10月	3	約6万
11月	24	約142万
12月	29	約188万
1月	7	約47万
計	63	約383万

※農林水産省にて発生報告ごとに累計 ※予防的殺処分等は含まず
※事例数等は病原性が確定した事例のみ記載

江原道				
2022.11.14	原州市	採卵鶏	約6.7万羽	H5N1

忠清北道				
2022.10.26	鎮川郡	肉用アヒル	約1.8万羽	H5N1
2022.11.3	清州市	肉用アヒル	約1.2万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用鶏	約5.6万羽	H5N1
2022.11.4	清州市	肉用アヒル	約1.3万羽	H5N1
2022.11.8	清州市	ウズラ	約49.8万羽	H5N1
2022.11.9	清州市	肉用アヒル	約2.2万羽	H5N1
2022.11.10	清州市	種アヒル	約0.4万羽	H5N1
2022.11.12	忠州市	肉用アヒル	約0.7万羽	H5N1
2022.11.17	清州市	種アヒル	約0.8万羽	H5N1

蔚山広域市				
2022.11.28	蔚山郡	採卵鶏	約6.5万羽	H5N1

慶尚北道				
★2022.10.17	醴泉郡	種アヒル	約1.0万羽	H5N1
2022.10.21	醴泉郡	肉用種鶏	約3.2万羽	H5N1
2022.12.21	星州郡	採卵鶏	約6.6万羽	H5N1
2022.12.23	漆谷郡	採卵鶏	約26.3万羽	H5N1

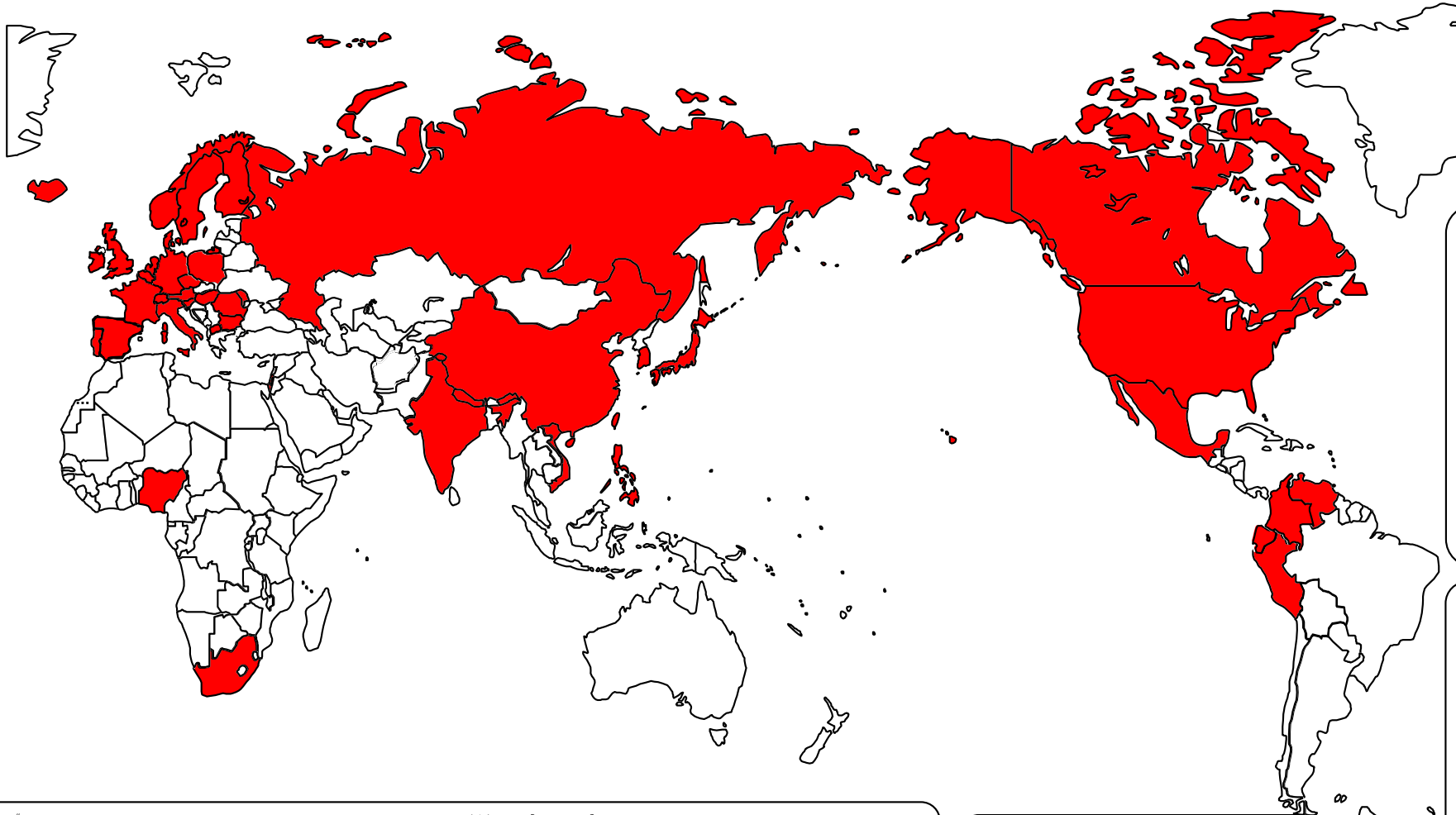
釜山広域市				
2022.12.19	機張郡	地鶏	220羽	H5N1

慶尚南道				
2022.12.12	晋州市	肉用アヒル	約1.6万羽	H5N1
2022.12.21	河東郡	肉用アヒル	約2.9万羽	H5N1
2023.1.1	金海市	採卵鶏	約12.9万羽	H5N1

※日付は症状が確認された日または検体採取日 ※*は病原性検査中事例 ※★は初発生日(2022年10月17日)
※N亜型未記載は、未公表又は未確定。

8 高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年7月以降)

■ : 2022年7月以降に継続発生
または新規発生した国



《ヨーロッパ》			
アイスランド	H5N1 (高)	[2022.10.17]	
アイルランド	H5N1 (高)	2022.11.18	
		[2022.11.21]	
イタリア	H5N1 (高)	2022.11.3	
		[2022.12.29]	
英国	H5N1 (高)	2022.12.13	
		[2022.12.23]	
オランダ	H5N1 (高)	2022.11.19	
		[2022.12.23]	
北マケドニア	H5N1 (高)	[2022.11.2]	
スイス	H5N1 (高)	[2022.11.28]	
スウェーデン	H5N1 (高)	[2022.12.28]	
スペイン	H5N1 (高)	2022.12.14	
		[2022.11.23]	
スロベニア	H5N1 (高)	[2023.1.3]	
セルビア	H5N1 (高)	[2022.11.22]	
デンマーク	H5N1 (高)	2022.12.31	
		[2022.12.4]	
ドイツ	H5N1 (高)	2023.1.3	
		[2022.11.10]	
ノルウェー	H5N1 (高)	2022.11.9	
		[2022.11.9]	
	H5N5 (高)	[2022.10.3]	
	H5 (高)	[2022.12.24]	
ハンガリー	H5N1 (高)	2022.12.31	
		[2023.1.2]	
フィンランド	H5N1 (高)	[2022.8.16]	
フェロー諸島	H5N1 (高)	2022.10.2	
		[2022.9.22]	
フランス	H5N1 (高)	2022.12.27	
		[2022.12.21]	
ブルガリア	不明 (高)	2022.10.20	
ベルギー	H5 (高)	[2022.7.8]	
	H5N1 (高)	2022.12.30	
		[2022.12.28]	
ポーランド	H5N1 (高)	2022.12.28	
		[2022.12.15]	
ポルトガル	H5N1 (高)	2022.11.9	
		[2022.11.15]	
モルドバ	H5N1 (高)	2022.11.11	
リユニオン	H5N1 (高)	2022.10.1	
ルーマニア	H5N1 (高)	[2023.1.4]	
チェコ	H5N1 (高)	2022.12.30	

《ロシア・NIS諸国》		
ロシア	H5N1 (高)	2022.12.1
		[2022.11.22]

《アフリカ》		
南アフリカ共和国	H5N1 (高)	2022.10.24
	H5N1 (高)	[2022.11.21]
ニジェール	H5N1 (高)	2022.12.18

《アジア》		
日本	H5N1 (高)	2023.1.6
		[2022.12.28]
中国	H5N1 (高)	[2022.7.9]
韓国	H5N1 (高)	2023.1.2
		[2022.10.20]
台湾	H5N1 (高)	2023.1.3
	H5N2 (高)	2022.12.28
香港	H5N1 (高)	[2022.12.5]
インド	H5N1 (高)	2022.11.17
		[2022.11.18]
	H5N8 (高)	[2022.11.28]
イスラエル	H5N1 (高)	2023.1.2
		[2022.12.29]
フィリピン	H5N1 (高)	2022.8.24
ベトナム	H5N1 (高)	2022.10.3

《南北アメリカ》		
米国	H5N1 (高)	2022.12.20
		[2022.12.16]
カナダ	H5N1 (高)	2023.1.6
		[2022.12.11]
メキシコ	H5N1 (高)	2022.12.6
		[2022.11.7]
エクアドル	H5N1 (高)	2022.11.25
	H5N1 (高)	[2022.12.8]
コロンビア	H5N1 (高)	[2022.11.17]

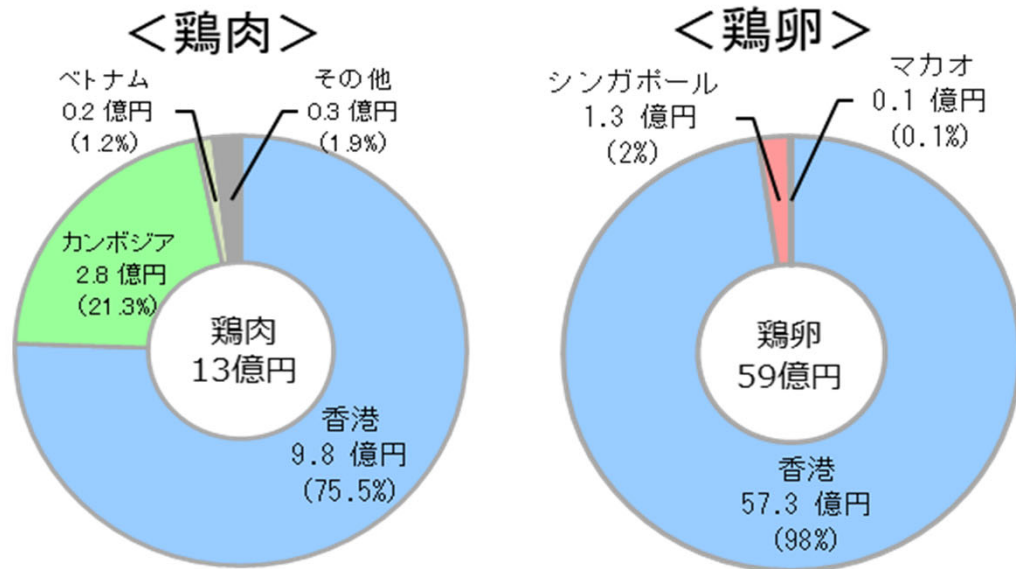
※日付は発生日又は検体回収日
 ※[]は野鳥(ペルーの玩鳥等)における発生を2022.11.30
 ※本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認について(高)を記載し、(高)は病原性
 ※型別に最新の発生事例を記載
 ※()は病原性
 ※韓国の野鳥については最新の情報更新が10月20日
 ※白色の国、地域であっても継続発生で報告されていない可能性もある。

9 輸出への影響

- 1 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認を受け、日本全国の家きん肉及び卵に対する輸出検疫証明書の交付を一時停止。
- 2 速やかに輸出相手国との協議を行い、非発生県からの輸出を再開。
- 3 発生県については、防疫措置完了から一定期間*発生がないことを確認した上で、相手国との協議の上、輸出を再開。

* OIEコードでは、防疫措置完了から28日と規定

【鶏肉及び鶏卵の輸出実績(2021年)】



【輸出再開状況(香港向け)】

○発生25道県中、2道県において輸出再開済み

輸出再開済み	輸出停止中
北海道、兵庫県	青森県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、千葉県、群馬県、埼玉県、新潟県、愛知県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、香川県、福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に係る
環境省の対応について

令和5年1月21日
環境省自然環境局

広島県世羅町の家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ発生の疑い事例に対する環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定し、広島県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 環境省中国四国地方環境事務所に、広島県と連携し現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示。
- 広島県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的として、区域内の渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施予定。

(参考) 野鳥の監視等の具体的な内容

- 10月～翌年4月にかけて全国の冬鳥の渡来地で野鳥糞便を採集するとともに、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、ウイルスの保有状況に関する調査を実施(野鳥サーベイランス)。
- 国内の複数箇所が高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された場合、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」として、野鳥監視を強化。
- 死亡野鳥、野鳥糞便、環境試料(水)及び家きんにおいて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された各地点の周辺半径 10km 圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。同区域内では野鳥での感染状況の把握等を目的とした渡り鳥の飛来状況や鳥類の生息状況等の調査を実施。

※今シーズンの発生状況(令和5年1月21日16時30分現在)

- ・家きん：1道24県63例(別表のとおり野鳥監視重点区域を指定)
- ・野鳥：1道24県165例
- ・飼養鳥：5県8例

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
1例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/16解除 (家きん5例目・7例目と重複)
2例目	北海道	厚真町	肉用鶏	10/27	10/28	10/28	11/3	12/30解除 (野鳥101例目と重複)
3例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	10/31	11/1	11/1	11/4	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
4例目	茨城県	かすみがうら市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/22	12/20解除
5例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/3	11/4	11/4	11/18	12/16解除
6例目	北海道	伊達市	肉用鶏	11/6	11/7	11/7	11/13	12/11解除
7例目	岡山県	倉敷市	採卵鶏	11/10	11/11	11/11	11/18	12/16解除
8例目	和歌山県	白浜町	あひる	11/10	11/11	11/11	11/12	1/1解除 (飼養鳥3例目と重複)
9例目	兵庫県	たつの市	採卵鶏	11/12	11/13	11/13	11/15	12/14解除 (野鳥39例目と重複)
10例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/17	11/18	11/18	11/21	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
11例目	新潟県	阿賀町	肉用鶏	11/17	11/18	11/18	11/24	12/22解除
12例目	宮崎県	新富町	採卵鶏	11/19	11/20	11/20	11/22	12/20解除
13例目	青森県	横浜町	肉用鶏	11/19	11/20	11/20	11/24	12/22解除
14例目	香川県	観音寺市	肉用鶏	11/21	11/22	11/22	11/26	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
15例目	香川県	観音寺市	採卵鶏	11/22	11/23	11/23	11/26	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
16例目	宮城県	気仙沼市	肉用鶏	11/22	11/23	11/23	11/24	12/27解除 (野鳥75例目と重複)
17例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/23	11/24	11/24	11/27	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
18例目	千葉県	香取市	あひる (あいがも)	11/25	11/26	11/26	11/26	12/24解除
19例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	11/26	11/27	11/27	12/8	2/6予定 (野鳥165例目と重複)

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
20例目	福島県	伊達市	肉用鶏	11/28	11/29	11/29	11/30	1/8解除 (家きん28例目と重複)
21例目	和歌山県	和歌山市	採卵鶏	11/29	11/30	11/30	12/4	1/1解除
22例目	鳥取県	鳥取市	採卵鶏	11/30	12/1	12/1	12/5	1/17解除 (野鳥130例目と重複)
23例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/1	12/2	12/2	12/5	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
24例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/3	12/4	12/4	12/6	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
25例目	愛知県	豊橋市	採卵鶏	12/4	12/5	12/5	12/15	1/12解除
26例目	佐賀県	武雄市	採卵鶏	12/5	12/6	12/6	12/7	1/4解除
27例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/14	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
28例目	福島県	飯舘村	採卵鶏	12/6	12/7	12/7	12/11	1/8解除
29例目	山形県	鶴岡市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/12	1/9解除
30例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/7	12/8	12/8	12/14	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
31例目	愛知県	豊橋市	あひる (あいがも)	12/7	12/8	12/8	12/9	1/12解除 (家きん25例目と重複)
32例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/8	12/9	12/9	12/14	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
33例目	香川県	三豊市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	12/15	1/17解除 (野鳥126例目と重複)
34例目	鹿児島県	出水市	採卵鶏	12/10	12/11	12/11	12/15	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
35例目	青森県	三沢市	採卵鶏	12/14	12/15	12/15	12/30	1/27予定
36例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	12/25	未定 (家きん63例目と重複)
37例目	沖縄県	金武町	採卵鶏	12/15	12/16	12/16	12/21	1/18解除
38例目	埼玉県	深谷市	採卵鶏	12/16	12/17	12/17	12/23	未定 (家きん62例目と重複)

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
39例目	鹿児島県	南九州市	採卵鶏	12/17	12/18	12/18	12/20	1/17解除
40例目	福岡県	糸島市	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	12/27	2/15予定 (家きん54例目と重複)
41例目	鹿児島県	阿久根市	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	12/24	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
42例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/18	12/19	12/19	1/7	未定 (家きん63例目と重複)
43例目	岡山県	美咲町	あひる (あいがも)	12/19	12/20	12/20	12/24	1/21予定
44例目	宮崎県	日向市	肉用鶏	12/20	12/21	12/21	12/22	1/19解除
45例目	鹿児島県	阿久根市	肉用鶏	12/20	12/21	12/21	12/23	2/6予定 (野鳥165例目と重複)
46例目	長崎県	佐世保市	採卵鶏	12/21	12/22	12/22	12/24	1/21予定
47例目	茨城県	笠間市	採卵鶏	12/21	12/22	12/22	12/25	2/14予定 (家きん56例目と重複)
48例目	福岡県	糸島市	肉用鶏	12/25	12/26	12/26	12/27	2/15予定 (家きん54例目と重複)
49例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/26	12/27	12/27	1/16	未定 (家きん63例目と重複)
50例目	埼玉県	狭山市	採卵鶏	12/29	12/30	12/30	1/3	1/31予定
51例目	広島県	世羅町	採卵鶏	12/29	12/30	12/30	1/17	未定 (家きん63例目と重複)
52例目	群馬県	前橋市	採卵鶏	12/31	1/1	1/1	1/3	未定 (家きん62例目と重複)
53例目	千葉県	旭市	採卵鶏	1/2	1/3	1/3	1/4	2/1予定
54例目	福岡県	古賀市	だちょう (エミュー)	1/2	1/3	1/3	1/18	2/15予定
55例目	新潟県	村上市	採卵鶏	1/5	1/6	1/6	未定	未定
56例目	茨城県	城里町	採卵鶏	1/8	1/9	1/9	1/17	2/14予定
57例目	宮崎県	川南町	採卵鶏	1/9	1/10	1/10	1/12	2/9予定
58例目	広島県	三次市	採卵鶏	1/9	1/10	1/10	未定	未定 (家きん63例目と重複)

令和4（2022）年シーズン家きんにおける野鳥監視重点区域の指定状況

家きん ○例目	場所		検体情報	簡易検査陽性 結果判明日	PCR検査による 疑似患畜確定日	野鳥監視重点区域		
	都道府県	市町村				指定日	防疫措置完了日 (消毒終了)	解除日 (防疫措置が完了した日の 次の日を1日目として 28日目の24時に解除)
59例目	新潟県	上越市	採卵鶏	1/12	1/13	1/13	1/17	2/14予定
60例目	大分県	佐伯市	肉用鶏	1/16	1/17	1/17	1/18	2/15予定
61例目	滋賀県	大津市	採卵鶏	1/18	1/19	1/19	未定	未定
62例目	群馬県	前橋市	採卵鶏	1/18	1/19	1/19	未定	未定
63例目	広島県	世羅町	採卵鶏	1/20	1/21	1/21	未定	未定